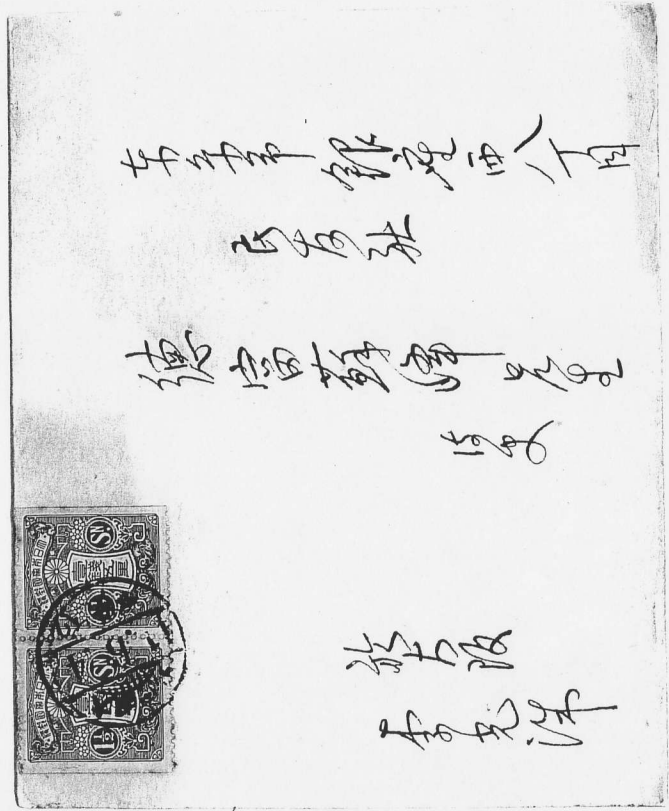


徳富蘇峰宛 李光洙

書簡 NO.

明治・大正・昭和 11 年 6 月 3 日





CABLE ADDRESS
"NEOHO" OSAKA

TEL. TOSABORI
8380-8392

Hotel New Osaka

Osaka

蘇峰 先生

貴職の節に賜はるる申言を肝に

銘申候名の一書はたる少きに向りしは

申厚直只感激あるのみに申産候一書を忘れ

世に盡す唯此のみぞ 先生の申諭を以て幸ひ

せからんことを祈り申候

林銑一郎 先生は快く接見しられ一時間毎

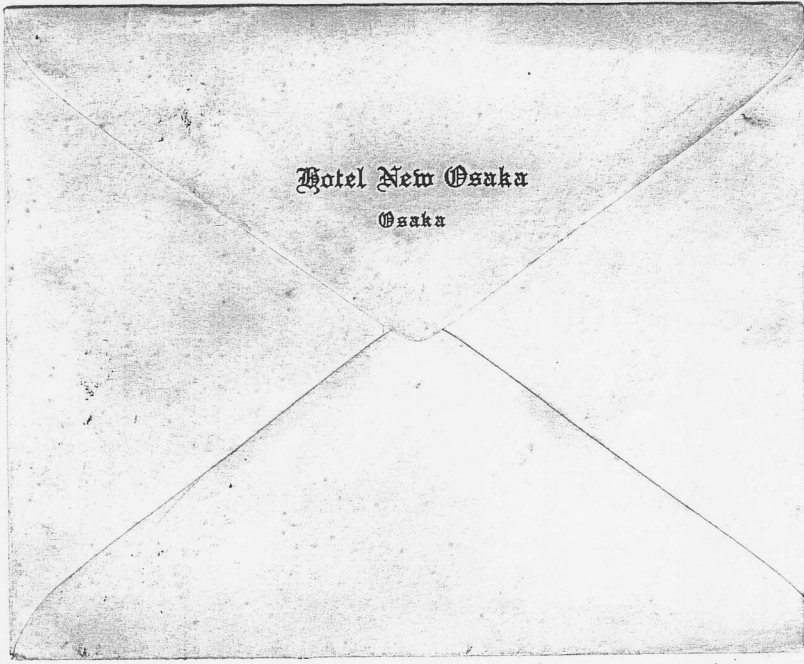
朝歸の事など御申候誠に感懐極

私心なきは移ると銘御休ト申候介厚く

御礼申上げ候 賜はるる申言明日より申

中より御讀候べく候早御返

五月廿三日 夜 李光洋 再啟



Hotel New Osaka
Osaka